

平成 29 年 1 月 18 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児急性脳症の後方視的研究

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

【研究責任者】 高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授

【研究の目的】 急性脳症症例の臨床情報を解析し、急性脳症の早期診断、重症度・予後予測、よりよい治療法を見つけ出すことです。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学八千代医療センター小児科で急性脳症と診断された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、既往歴、前投薬、診断名、臨床情報、治療内容、検査結果、画像結果、脳波結果、予後

【個人情報の取り扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 29 年 2 月 27 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 成人スティル病の病型分類と臨床的特徴に関する後ろ向き臨床研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院リウマチ科

【研究責任者】 川口 鎮司 リウマチ科 臨床教授

【研究の目的】

成人スティル病の診断にあたり感染症、悪性腫瘍、他の自己炎症性疾患、膠原病との鑑別が必要であり、しばしば鑑別に苦慮する。また病型は寛解に至る症例、発熱、皮疹などの全身症状を反復する症例、持続関節炎をきたす症例があり、予後も異なる。本研究にて臨床症状、所見、血清中の指標が、診断、予後予測、適切な治療の選択に有用な因子の抽出を行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

成人スティル病の患者さんで、1993 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間に当科の外来、入院にて加療した方。

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、疾患名、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リウマチ科 担当医師 市田久恵

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 29 年 1 月 30 日

一般内科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 一般内科外来における愁訴に関する多施設共同研究
～復職医師が外来を担うための教育体制整備に向けて～

【研究機関】 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター女性医師再研修部門

【研究責任者】 東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター長
女性医師再研修部門長代理 名誉教授 肥塚 直美

【研究の目的】

一般内科初診外来に来る方の愁訴とその後の経過、病名を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011 年 6 月 15 日から 2011 年 7 月 15 日、および 2012 年 1 月 16 日～2 月 15 日の間に
一般内科初診外来を受診したかた

●利用するカルテ情報

年齢、性別、問診票の内容、治療内容、診断名、処方内容、受診歴、転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター 女性医師再研修部門

担当医師 横田仁子

電話 03-3353-8112 内線 41121 FAX 03-5269-7378

平成 26 年 10 月 1 日

東京女子医科大学東医療センター皮膚科に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ダーモスコピーによる皮膚腫瘍画像自動解析プログラムの作成

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター皮膚科

〔研究責任者〕 田中 勝（東医療センター皮膚科教授）

〔研究の目的〕 ダーモスコピー撮影画像をコンピュータで自動解析することにより、悪性か良性かを判別するための自動解析プログラムを作成する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

皮膚腫瘍（色素細胞母斑、悪性黒色腫、基底細胞癌、日光角化症、ボーエン病、汗孔腫、脂漏性角化症、血管腫、皮膚線維腫など）の患者さんで、平成 18 年 1 月 5 日から平成 26 年 9 月 30 日までの間にダーモスコピー検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、ダーモスコピー写真

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター皮膚科 担当医師 田中 勝

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-1441

平成 29 年 2 月 3 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 非代償性肝硬変における肝性腹水の実態調査

〔研究機関〕 多施設共同 〔研究代表者〕 武蔵野赤十字病院 副院長 泉 並木

〔参加施設〕

共同調査参加施設 施設責任者

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 武蔵野赤十字病院消化器科 | 泉 並木 |
| 2. 慶応義塾大学 消化器内科 | 海老沼 浩利 |
| 3. 独立行政法人国立病院機構東京病院 消化器内科 | 上司 裕史 |
| 4. 東京都立多摩総合医療センター 内科 | 唐鎌 優子 |
| 5. 杏林大学第三内科 | 川村 直弘 |
| 6. 順天堂大学練馬病院 消化器内科 | 大久保 裕直 |
| 7. 東京医科大学八王子医療センター 外科 | 島津 元秀 |
| 8. 慈恵会医科大学付属第三病院 消化器・肝臓内科 | 西野 博一 |
| 9. 公立昭和病院 消化器内科 | 野内 俊彦 |
| 10. 青梅市立総合病院 消化器内科 | 野口 修 |
| 11. 東京女子医科大学 消化器病センター | 橋本 悦子 |
| 12. 東京医科大学消化器内科 | 森安 史典 |
| 13. 日本大学板橋病院 消化器内科 | 森山 光彦 |
| 14. 日本医科大学多摩永山病院 外科 | 吉田 寛 |
| 15. 東海大学八王子病院 消化器内科 | 渡辺 勲史 |
| 16. 新百合ヶ丘総合病院・肝疾患低侵襲治療センター | 圏分 茂博 |

[当院における研究責任者] 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

[研究の目的]

肝硬変患者で腹水治療を行っている患者さんを対象とし腹水治療の現状と予後について明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝硬変の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 25 年 1 月 31 日の間に腹水治療を受けた方

●利用するカルテ情報

*診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液尿検査、画像検査、腹水検査、内視鏡検査）など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 谷合 麻紀子、小木曾 智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 29 年 2 月 3 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肝硬変に伴う体液貯留症例に対するトルバプタン治療の有効性および効果予測因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器内科

[研究責任者] 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

[研究の目的]

肝硬変での体液貯留に対するトルバプタン治療の有効性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝硬変の患者さんで、平成 25 年 9 月 13 日から平成 29 年 1 月 31 日の間に腹水などの体液貯留の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

*診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液尿検査、画像検査、腹水検査）、など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小木曾 智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 29 年 11 月 5 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 関節リウマチ患者における足部足関節機能障害評価方法と、保存療法ならびに手術的治療における成績不良因子の後向き研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

〔研究責任者〕 猪狩勝則、膠原病リウマチ痛風センター、准教授

〔研究の目的〕 リウマチ上肢機能障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 10 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間にリウマチ性足部足関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 3 月 6 日

循環器内科に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性心不全患者の薬物治療・非薬物治療の実態調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

日本人心不全入院患者を対象に、薬物および非薬物治療の実態とその治療が予後、再入院、医療経済に及ぼす影響について検討すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学循環器内科に、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに入院した全ての心不全患者

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別、基礎心疾患）

入院時検査（血液検査、心電図諸君、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査）

入院時処置（薬物・非薬物治療）

退院後の治療と医療機関

死亡と再入院の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 志賀 剛

電話 03-3353-8111（内線 23110.23111） FAX 03-3356-0441

平成 27 年 ● 月 ● 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 導出 18 誘導心電図の有用性の検討 ー小児例を中心としてー

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院中央検査部

〔研究責任者〕 川島 眞、中央検査部 運営部長

〔研究の目的〕 心電図検査は手足に 10 個の電極を付けて 12 種類の波形を記録します。お子様および心臓の悪い患者さまは、さらに 3～6 個の電極を付けて追加記録し診断を高めます。本研究は実際に電極を追加して記録した心電図と、通常の心電図から計算で得られた追加心電図（導出心電図）とを比較します。高い一致得性が認められた場合には患者さまの負担を増やさず、通常的心電図記録で 18 種類の心電図評価が出来、診断精度の向上が期待できます。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

20 歳未満で平成 22 年 1 月から平成 26 年 12 月の間に 15 誘導以上の心電図検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、心電図検査所見

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部

担当技師 山田 辰一

電話 03-3353-8111 内線 23158

平成 27 年 7 月 6 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センター科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

[研究の目的]

高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

高安動脈炎あるいは巨細胞性動脈炎の患者さんで、平成 19 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に新たにステロイド療法が開始された方、または再発例に対して治療強化された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、生検）、治療経過、有害事象、手術記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

平成 29 年 1 月 9 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）

の

患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 副腎静脈サンプリング検査の成功率に寄与する因子の探索

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科、高血圧・内分泌内科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

【研究の目的】 原発性アルドステロン症患者に対する副腎静脈サンプリング検査の手法による成功率の差と、その結果による臨床的意義について検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

原発性アルドステロン症（もしくはその疑い）の患者さんで、平成 18 年 6 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に副腎静脈サンプリング検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、副腎静脈サンプリングの手法・採血値、病理所見）、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 29 年 1 月 5 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 股関節障害を有する患者における保存的ならびに手術的治療成績不良因子の後ろ向き研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

〔研究責任者〕 猪狩勝則、膠原病リウマチ痛風センター、准教授

〔研究の目的〕股関節障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 2 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に股関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野絃一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 29 年 1 月 5 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 膝関節障害を有する患者における保存的ならびに手術的治療成績不良因子の後ろ向き研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

〔研究責任者〕 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

〔研究の目的〕 膝関節障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 2 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に股関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

2015年10月19日

中央検査部に検体を提出される（または過去に提出されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査終了後の残余尿検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 全自動尿分析装置US-3500の性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 川島 眞 （中央検査部運営部長）

〔研究の目的〕 現在使用している尿の検査機器と、新しく開発された尿の検査機器の結果を比較して、新しい機器がより良いものか確認します。

この研究は「栄研化学株式会社」との共同研究でおこないます。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

尿検査を行われた患者さんで、倫理委員会承認日から2017年3月31日の間に尿検査をされた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：尿（診療の検査終了後の残余の尿）

カルテ情報：尿定性検査結果、定量法による尿中蛋白、ブドウ糖 アルブミン、クレアチニン、尿沈渣検査結果（赤血球、白血球、円柱）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 管理機構室 三浦ひとみ

03-3353-8111（内線38215）

2017 3/31

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた保管検体を利用し過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 サイトメガロウイルス抗体測定試薬2法の性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 中央検査部 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

サイトメガロウイルス抗体の検査を行う測定試薬が新たに開発されたため、従来試薬と同じ値が出るか性能を評価します。

この研究は、アボットジャパン株式会社からの受託研究で行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

サイトメガロウイルス抗体測定の依頼のあった患者さんで、平成27年11月1日から平成29年12月31日の間に測定され、残余となった血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液(血清)

カルテ情報：サイトメガロウイルス抗体

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に保管検体またはカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 管理機構室 担当 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215) FAX 03-5269-7469

平成 29 年 3 月 17 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

[研究課題名] アバタセプト（オレンシア）の整形外科周術期合併症に対する影響
ー多施設共同観察研究ー

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

[研究責任者] 猪狩勝則、膠原病リウマチ痛風センター、准教授

[研究の目的]

関節リウマチについて、ここ 10 年程度で数多くの薬剤が市販され、病気の状態を著しく良くしました。それにもかかわらず、手術治療が必要な方は未だに多くおられます。最近市販された薬剤は、効き目も良い一方、感染症などの合併症を増やすことが報告されています。したがって、手術治療においても感染症を初めとする合併症が増えるのではないかと心配されています。これまで TNF アルファ阻害薬については、周術期合併症、特に手術部感染症を軽度増加させるとの報告がありますが、まったく作用機序の異なるアバタセプト（オレンシア）については、手術に関連した報告はほとんどありません。その理由として、この薬剤が比較的新しい薬剤であることもあって、1 施設で投与している患者さんの数が少なく、そのために手術を受ける患者さんも少ないため、十分な解析ができないことが挙げられます。したがって、たくさんの施設が共同で研究を行って、影響を明らかにする必要があります。今回は京都大学を中心とする多施設での研究を行い、当施設も参加いたします。

[研究の方法]

(1) データの収集について

2011 年から 2014 年 3 月までに、関節リウマチの方に対して当院で整形外科手術を行った方のデータを、カルテから収集します。各施設において収集されたデータは厳重に匿名化され、中心となる京都大学に送られます。

(2) 比較及び評価の方法

アバタセプト（オレンシア）を投与した方と、アバタセプト（オレンシア）を含む生物学的製剤を投与していない方の手術合併症を比較し、合併症の発生率に違いがないかを調査します。また合併症に遭った方とそうでない方を比較し、年齢や手術の方法などによって、違いがないかどうかを調査します。

(3) 予想される利益・不利益

手術をすでに受けた患者さんについて、特に利益・不利益は生じません。

(4) この試験への参加について

もしこの説明書をお読みになり、ご自分の手術について解析をしてほしくないと思われた場合は、担当医までお知らせください。解析ファイルから、あなたのデータをすべて削除いたします。

(5) 費用および謝礼について

費用の免除及び謝礼金はありません。

(6) この研究は多施設研究であり、当施設においては関連する企業等の資金提供や開示すべき利益相反はありません。一方本研究の中心である京都大学はオレンシアを販売する BMKK 社から資金提供を受けますが、同社との間には開示すべき利益相反はなく、本研究で得られた研究成果や知的財産権は、同社に無償で提供されます。ただし一人一人の方のデータは提供されることはありません。

[個人情報の取り扱い]

この調査で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合、また何か分からないことや心配なことがある場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 中山 政憲

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 1 月 18 日

耳鼻咽喉科・呼吸器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「気管支喘息に対する吸入療法強化による上気道好酸球性炎症（好酸球性中耳炎、好酸球性副鼻腔炎）への効果」

[研究機関] 東京女子医科大学病院 耳鼻咽喉科・呼吸器内科

[研究責任者] 野中 学 耳鼻咽喉科 臨床教授

[研究の目的]

好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎は難治性で、気管支喘息を高率に合併します。近年、好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎の治療として、気管支喘息の治療を適切に行うことが重要であると考えられつつあります。そこで、ある一定期間において呼吸器内科で行われている喘息の治療方法別に、既に施行されている血液検査、呼吸機能検査、胸部 CT、NO 値、好酸球性中耳炎の自覚症状や耳内所見、聴力検査、側頭骨 CT 所見、好酸球性副鼻腔炎の自覚症状や鼻内所見、嗅覚検査、副鼻腔 CT を後ろ向きに比較検討することで、適切な喘息治療の強化がどのように好酸球性中耳炎や好酸球性副鼻腔炎へ影響するかを同定することが目的です。治療の強化は薬剤添付文書の容量範囲内で、患者さんの喘息の程度に応じた適切な容量です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日の間で呼吸器内科、耳鼻咽喉科に通院または入院された気管支喘息と、好酸球性中耳炎または好酸球性副鼻腔炎を合併している患者さん

●利用するカルテ情報

年齢 性別 罹病期間 自覚症状 局所所見 聴力検査所見 嗅覚検査所見 血液検査所見 呼吸機能検査所見 NO 値 CT（側頭骨、副鼻腔、胸部）合併症 治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院耳鼻咽喉科

担当医師 瀬尾 友佳子

電話 03-3353-8111

平成 29 年 2 月 22 日

消化器外科で肝臓移植を受けた患者さん、およびドナーとなった方へ ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肝臓移植ドナーおよびレシピエントに併存する精神疾患の後方視的多施設共同研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 神経精神科・消化器外科

【研究責任者】 神経精神科 教授・講座主任 西村 勝治

【研究の目的】 肝臓移植のドナー・レシピエントの方におけるメンタルヘルスの問題を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝臓移植ドナー（生体）、レシピエント（脳死・生体）の方で、平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 1 月 13 日の間に移植を受けた方

●利用するカルテ情報

肝臓疾患の診断名、臨床経過、重症度、移植時の身体情報、移植後の臨床経過（ドナーの場合はレシピエントの臨床経過）。精神疾患が併存する場合にはその診断名、臨床経過、治療法〔薬物療法（向精神薬）に関しては、薬剤名、投与量、投与期間〕。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 西村勝治

電話 03-3353-8111（代表） FAX 03-3351-8979

平成 28 年 3 月 30 日

消化器外科・消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 膵癌の早期診断確立のための実態調査(多施設共同研究)

〔研究機関〕 東京女子医科大学消化器・一般外科・消化器内科・統合医科学研究所

〔研究責任者〕 山本雅一・東京女子医科大学消化器・一般外科・教授/講座主任

〔研究の目的〕

膵臓がんでステージ 0, I と診断された患者さんの医学的特徴を明らかにする

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

膵臓癌の患者さんで、平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、生年月日、診断時年齢、膵癌発症の疫学的危険因子、A. 受診動機（検診、症状の有無、他疾患スクリーニング中の発見）、受診時の画像診断、血液検査（アミラーゼ、CEA, CA19-9）、症状、B. 診断に用いた画像診断（US、CT、MRI、EUS、EUS-FNA、ERCP、FDG-PET）とその画像所見、C. 病理診断、病巣の範囲、大きさ、D. 予後

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8112 内線 25116

FAX 03-5269-7507

平成 29 年 1 月 20 日

循環器内科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 循環器疾患患者を対象としたジゴキシン療法の長期治療成績に関する調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 教授 萩原 誠久

[研究の目的]

ジゴキシンの処方された患者さんの、その後の経過と臨床背景およびジゴキシン血中濃度についての検討をおこない、その治療成績についての評価を行う事を目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに東京女子医科大学病院循環器内科に通院または入院した患者さんのうち、ジゴキシン（ジゴキシン錠、ジゴシン散 0.1%、ジゴシンエリキシル、ジゴシン注およびハーフジゴキシン KY 錠 0.125）が処方もしくは使用された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、心不全、血栓塞栓症、心房細動の有無）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、甲状腺機能亢進症の有無、薬の使用状況、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、6 分間歩行検査、12 誘導心電図所見、血圧、脈拍数、血液検査（血清クレアチニン、クレアチニンクリアランス、推算糸球体濾過量、BNP、血清カリウム、蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、ジゴキシン血中濃度、抗不整脈薬血中濃度）、入院日、入院の詳細、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し

ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター

担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

平成 28 年 12 月 19 日

救命医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 持続的血液濾過膜の膜寿命評価およびナファモスタットメシル酸塩プライミングが膜寿命へおよぼす影響について

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

〔研究責任者〕東京女子医科大学東医療センター救急医療科准教授 救命救急センター長 庄古知久

〔研究の目的〕

持続的血液浄化療法における、膜の交換時間について検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2016 年 10 月 31 日の期間において東京女子医科大学東医療センター救命救急センターまたは集中治療室にて持続的血液浄化療法を実施した患者。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、バイタルサイン、血液浄化記録。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター 救急医療科 救命救急センター長

担当医師 庄古知久

電話 03-3810-1111

本院患者さんへの情報公開用文書

「MI-001（膵・胆道癌の診断用マイクロ RNA 発現パターン解析キット）の臨床性能試験の研究」についてのご説明

研究の目的

膵・胆道癌の診断用マイクロ RNA 発現パターン解析キット MI-001 を用いた検査の、膵・胆道癌の診断補助における有用性を検討します。

対象となる患者さん

2016 年 9 月から 2017 年 3 月までに当科で行った臨床研究「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカーの研究」に同意された方のうち、データや検体の二次利用に同意された方が対象です。

研究内容と方法

先行研究を行った「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカー」が、「高感度で膵臓癌、胆道癌を検出できる新たな診断マーカー」として有用かを評価し、より早期の癌を発見したり、負担の大きい検査の実施を決断する際にその判断の補助となりえるかを検討するための研究です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認のうえ実施されます。当院を含む国内の多施設で共同研究を行っており、当院及び参加施設の倫理委員会で承認されています。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査、病理検査などのデータと、先行研究である「膵・胆道癌患者の血清由来マイクロ RNA 発現を用いた検出マーカーの研究」で収集した検体を用いて行う研究です。そのため、特に患者さんに新たにご負担頂くことはありませんが、謝金也没有ありません。

研究期間

倫理委員会承認後から平成 32 年 07 月 30 日まで。

患者さんの個人情報の管理について

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室および国立がんセンター東病院検体保管庫において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行います。

患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の処置について

この研究のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局まで平成 28 年 3 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。

研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報明らかにしないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上等で公表します。

主任研究施設名

研究統括医師： 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院肝胆膵内科
医長： 光永修一

問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学病院 消化器内科
高山敬子
電話：03-3353-8111（代表）

平成 28 年 12 月 26 日

母子医療センターNICU, GCUに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 極低出生体重児における抗血栓性コーティング加工された末梢中心静脈カテーテルの安全性と有効性の比較検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院母子総合医療センター新生児医学科

【研究責任者】 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科 教授 楠田 聡

【研究の目的】 極低出生体重児における末梢中心静脈カテーテル使用状況、合併症の有無を調査し、その安全性を確認することで今後の診療の向上につなげるため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

出生体重 1500g 未満で出生された患者さんで、平成 28 年 10 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日の間に東京女子医科大学母子総合医療センターへ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、性別、在胎期間、出生体重、出生時状況、入院後経過、合併症、検査結果、治療内容、予後、退院後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院新生児医学科 担当医師 中西秀彦

電話 03-3353-8111 FAX 03-03-5269-7668

平成 28 年 10 月 24 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 UGT1A1 遺伝子変異を有する CPT-11 投与患者における好中球減少症発現に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院薬剤部

〔研究責任者〕 木村利美 東京女子医科大学病院 薬剤部 部長

〔研究の目的〕 お薬を分解する酵素を作る遺伝子の一つである UGT1A1 遺伝子は、患者さんによって、一部が変異していることがあります。その変異がカンプトテシン（CPT-11）による好中球減少症に与える影響について調査することを目的としています

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 20 年 11 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間に UGT1A1 遺伝子検査を行い CPT-11 の投与を受けた方

●利用するカルテ情報

①患者情報（年齢、性別、身長、体重、体表面積、既往歴、喫煙歴）

②治療内容（診療情報による治療履歴、有害事象）

③使用薬剤（処方歴、併用薬、用法用量）

④検査結果（白血球数、好中球数、好中球比率、リンパ球比率、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、AST、ALT、LD、ALP、 γ -GTP、クレアチニン、eGFR、BUN、アルブミン、アンモニア（血液）、APTT、APTTcontrol、Na、K、Cl、Ca、CEA、CA19-9、DUPAN-2、Span-1、エラスターゼ 1、KL-6）

⑤遺伝子情報（UGT1A1 遺伝子多型）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部 薬剤師 丸山拓実

電話 03-3353-8111 内線 27083 FAX なし

平成 28 年 12 月 26 日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センターを含む 256 施設（2016 年 3 月時点）

〔研究責任者〕 東京女子医科大学八千代医療センター救急科 准教授 貞広 智仁

〔研究の目的〕

外傷は子供や若年層の死因の第 1 位、2 位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。外傷の診療の質を評価し、向上させることは外傷による死亡率を低下させるために重要なことです。本研究では、外傷診療にかかわるデータを全国の医療施設（主に救命救急センター）から収集し、各医療施設の診療の質評価や、診療行為の効果を評価するための分析を行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、重症外傷（6 段階の重症度スコアで 3 以上）を有する患者さんです。

●利用するカルテ情報

受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無などのデータを日本外傷データバンクへ登録します。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。日本外傷データバンクのデータは、不正なアクセスや改ざん漏えいが起きないように厳重に管理されています。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。お申し出により登録をしないことができ、これにより診療上の不利益を被ることはありません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京女子医科大学八千代医療センター 担当医師 貞広 智仁
千葉県八千代市大和田新田 477-96 電話 047-450-6000（代表）

東京女子医科大学病院に通院・入院されているの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] グリコアルブミン測定試薬「スポットケム D GA-A」の基礎的性能評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院 中央検査部 検体検査室

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

[研究の目的] 医師から依頼されたグリコアルブミン検査の測定後の残った検体を使って、新しく開発されたグリコアルブミン測定試薬で測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。この研究は、アークレイマーケティング株式会社の受託研究として行います

[研究の方法]

●対象となる患者さん

グリコアルブミン測定後、倫理委員会承認後から平成30年3月31日の間に
提出された検体の残余量のある患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：診療科、投薬状況、グリコアルブミン、HbA1c、AST、ALT、 γ -GT、BUN、
CRE、CBC、DIF

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7469

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「ロボット支援腎部分切除術における腫瘍核出術の意義」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 教授 田邊 一成

【研究の目的】

ロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術の安全性の検証

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日の間にロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術をうけた患者さん。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、腫瘍径、臨床病期、病理結果、症状の有無、腫瘍個数、身長、体重
- ②術前後腎機能、術前 Charlson comorbidity index、術後在院日数、合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 21 日

腎臓病総合医療センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎移植前の脱感作療法に IVIG を使用した症例の調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院

[研究責任者] 石田 英樹 腎臓病総合医療センター 泌尿器科 診療部長 臨床教授

[研究の目的]

本邦における IVIG を使用した脱感作療法の実態を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014 年 1 月～2016 年 12 月の間に東京女子医科大学病院にて腎移植前の脱感作療法に IVIG を使用した方及びそのドナーの方

●利用するカルテ情報

- ・ レシピエントの背景：治験参加の有無、性別、生年月、原疾患名、合併症、既往歴、血清ウイルス検査、血液型、透析導入の有無、過去の輸血の有無、過去の移植の有無、過去の妊娠の有無
- ・ 脱感作療法前のリンパ球交差試験・ドナー特異的 HLA 抗体の状況
- ・ 脱感作療法後のリンパ球交差試験・ドナー特異的 HLA 抗体の状況
- ・ 脱感作療法に使用した IVIG について：投与日、投与量、用法・用量の設定根拠
- ・ 脱感作療法に使用した IVIG 以外の薬剤・療法について：薬剤名・療法名、投与日・実施日、投与量
- ・ 移植について：移植実施の有無、移植日、移植時の年齢、移植時の体重、生存・生着
- ・ 入退院日
- ・ 検査値*1について：施設基準値、各ポイント*2直近の検体採取日及び検査結果
- ・ 免疫抑制療法の状況：薬剤名、開始日、単位、各ポイント*2における投与量
- ・ 移植日以降の IVIG 及び血漿交換療法の実施状況：療法名、投与日・実施日、投与量、実施理由
- ・ 拒絶反応について：拒絶反応の有無、種類、診断日、診断結果、治療、転帰
- ・ IVIG 投与以降の有害事象・感染症について：事象名・感染症名、発現日、重篤性、

転帰、感染症に関して確認した検査内容と検査結果、IVIG との因果関係

*1: 赤血球数、白血球数、好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球、ヘモグロビン、ヘマトクリット値、血小板数、AST、ALT、AL-P、LDH、 γ -GTP、BUN、血清クレアチニン、総蛋白、アルブミン、CRP、尿量、蛋白

*2: IVIG 投与前、IVIG 投与後、移植前、移植翌日、移植後 1 週、移植後 2 週、移植後 3 週、移植後 4 週、移植後 6 週、移植後 8 週、移植後 3 ヶ月、移植後 6 ヶ月

【ドナー】

- ・ レシピエントとの続柄
- ・ 血清ウイルス検査
- ・ 血液型

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 腎臓病総合医療センター 泌尿器科

担当医師 石田 英樹

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

H29 12/31

平成 28 年 10 月 6 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 薬剤性消化管粘膜障害の臨床的背景と、難治例の予測因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 消化器内科 教授・講座主任 徳重克年

【研究の目的】

薬剤による消化管粘膜障害の特徴および難治例のリスク因子を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

上部消化管出血をおこした患者さんで、平成 15 年 6 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間に内視鏡の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、内視鏡検査・治療結果、血液検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小林亜也子

電話 03-3353-8111(代表) FAX 03-5269-7507

平成 28 年 9 月 8 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] タクロリムスのループス腎炎に対する治療効果の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第四内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学第四内科教授

[研究の目的]

タクロリムスがループス腎炎患者の腎機能、蛋白尿及び併用ステロイド薬減量等を与える影響を調べる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007 年より 2009 年までの間に、ループス腎炎に対して当施設においてタクロリムスの投与が開始された中で、20 歳以上だった方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検組織所見）、内服歴、合併症及び有害事象治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 唐澤一徳

電話 03-3353-8111-28669 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「分子標的療法時代における転移性腎細胞癌の予後に関する多施設疫学調査」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

転移性腎癌を有する患者さんに対する最適な治療法を探索する事を目的としています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2008 年から 2012 年までの間に臨床的に腎細胞癌と診断され、初診時もしくは経過観察中に転移を認め、免疫療法剤や分子標的療法剤が投与された患者さん。

●利用するカルテ情報

- 患者背景：生年月日、性別など
- 病歴調査
- 問診および理学所見、臨床データおよび臨床検査データなど
- 術前後の CT もしくは MRI などの画像診断所見など
- 治療方法（手術術式、薬物療法、放射線療法など）など
- 腎癌の組織分類・Grade・pTNM 分類評価など

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 29 年 1 月 5 日

循環器内科・心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 リード抜去手術患者の治療効果と予後に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 教授 萩原誠久

【研究の目的】

リード抜去手術の治療効果と予後因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 16 年 1 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日の間にリード抜去手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、培養検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）、リード・デバイスデータ、薬物治療、手術所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 逸見隆太

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 10 月 25 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院 NICU 入院中に先天性水腎症と診断された児の経過の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター小児科

【研究責任者】 杉原 茂孝

【研究の目的】

先天性水腎症の自然経過を調べること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2009 年 4 月から 2013 年 9 月に当院 NICU に入院した方の中で、入院中に先天性水腎症と診断され、退院後当院小児科に通院した患者さん

●利用するカルテ情報

性別、在胎週数、出生体重、胎児期超音波の所見、腎臓超音波検査の所見、治癒までにかかった期間、合併症の有無

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター小児科

担当医師 館野 かおる

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1327

平成 29 年 1 月 5 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心不全患者における肺拡散能と心肺運動負荷試験の指標との関係の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器内科

〔研究責任者〕 循環器内科 教授・講座主任 萩原誠久

〔研究の目的〕

心不全の程度と肺の機能や運動耐容能との関係を調べ、心臓の状態をより詳細に
知ることによって治療や日常生活の活動範囲が適切かを検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心不全で循環器内科に入院された患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月
30 日の間に心配運動負荷試験、精密肺機能検査、心臓カテーテル検査、心臓超音波検
査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身長、体重 ②診断名、治療薬 ③心臓超音波検査結果
④精密肺機能検査結果 ⑤心臓カテーテル検査結果
⑥心肺運動負荷試験結果 ⑦血液検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し
ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 12 月 28 日

東京女子医科大学糖尿病センターに通院中の患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病センター通院歴のある 1 型糖尿病患者の 2020 年時点の予後調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病センター

[研究責任者] 内潟安子 東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科 主任教授

大谷敏嘉 東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科 非常勤講師

三浦順之助 東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科 講師

[研究の目的]

東京女子医科大学医学部糖尿病・代謝内科に通院中もしくは通院していた 1 型糖尿病患者の 2020 年時点の予後を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1962 年～2010 年までに東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科に通院中もしくは通院していた 1 型糖尿病患者

●利用するカルテ情報・

糖尿病発症年齢、身長、体重、治療歴、外来血圧、透析の有無、腎移植の有無
血液生化学的検査:HbA1c、血清クレアチニン、血清脂質、負荷前血糖、負荷前 CPR、
食事負荷 60 分後血糖、食事負荷 60 分後 CPR、食事負荷 120 分後血糖、食事負荷 120
分後 CPR 尿蛋白、24 時間尿中 CPR、尿中アルブミン

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター 担当医師 大谷敏嘉

電話 03-353-8111 27110 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 12 月 28 日

東京女子医科大学 腎臓小児科に通院中
または入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 本邦小児におけるカンデサルタン シレキセチルの使用実態調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院 腎臓小児科

[研究責任者] 服部元史 腎臓小児科 教授

[研究の目的]

本邦の小児における降圧薬カンデサルタン シレキセチル(プロプレス錠とその後発品)(以下、調査対象医薬品)の使用の実態に関して、下記の状況を把握する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日の間に東京女子医科大学腎臓小児科に通院中または入院中の 16 歳未満の患者さんで、調査対象医薬品の処方を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見(身長・体重・血圧)、原疾患名、身長、体重、血清クレアチニン値、受診時血圧、処方理由、1 日投与量、1 日投与回数、投与方法(錠剤、粉砕、その他)、併用降圧薬、有害事象

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX Fax 03-3356-0293

平成28年10月5日

神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 延髄梗塞の臨床像についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター神経内科

【研究責任者】 大橋高志、東京女子医科大学八千代医療センター、准教授

【研究の目的】

延髄梗塞の病態を明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

延髄梗塞の患者さんで、平成27年4月1日から平成28年9月30日の間に当院で入院治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、臨床症状、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心エコー検査、頸動脈エコー検査、血管撮影検査）、経過、予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学八千代医療センター神経内科

担当医師 鈴木美紀

電話 047-450-6000

平成 29 年 3 月 1 日

東医療センターにて X 線検査（トモシンセシス）を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

トモシンセシス再構成ソフトウェア VolumeRAD2.0 による描出能の比較

[研究機関]

東京女子医科大学東医療センター 放射線科

GE・ヘルスケア株式会社

[研究責任者]

鈴木 滋 放射線科 教授

[研究の目的]

トモシンセシスの新しい再構成処理の臨床的有用性を確認するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 19 年 11 月 1 日から平成 28 年 11 月 1 日までの間に、東京女子医科大学東医療センターにてトモシンセシス検査を受けた患者

●利用するカルテ情報

診断名、X 線画像、CT 画像

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 佐藤 圭太

電話 03-3810-1111（内線 7181） FAX 03-3894-0282

平成 29 年 1 月 23 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「甲状腺乳頭癌初回リンパ節転移再発手術後の予後と予後因子」

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科（乳腺・内分泌外科）

[研究責任者] 岡本高宏 東京女子医科大学 外科学（第二）教授・講座主任

[研究の目的]

甲状腺乳頭癌初回リンパ節転移再発手術後の予後と予後因子を推定することです

[研究の方法]

●対象となる患者さん

甲状腺乳頭癌初回リンパ節転移再発の患者さんで、昭和 56 年 4 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間にリンパ節転移再発に対して外科治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 初回治療の情報：年齢、性別、画像診断結果、病理診断結果（細胞診、病理組織診断）、甲状腺癌取り扱い規約第 7 版に基づく TNM 分類（術前、術中、術後）、甲状腺機能検査値（TSH, FT3, FT4、血中サイログロブリン値、血中抗サイログロブリン抗体値）、手術術式、術後放射性ヨウ素内用療法の有無、TSH 抑制療法の有無
- ② 初回転移再発の情報：再発診断時年齢、初回治療時からの時間、再発診断様式（自覚症状、触知の有無）、画像診断結果、病理診断結果（細胞診、病理組織診断）、転移再発リンパ節の部位、再発診断の根拠（細胞診、穿刺液サイログロブリン値、画像のみ）、再発か初回治療時遺残かの区別、診断時の甲状腺機能検査値（TSH, FT3, FT4、血中サイログロブリン値、血中抗サイログロブリン抗体値）、手術術式、転移再発リンパ節同定法（色素法使用の有無）、術後放射性ヨウ素内用療法の有無、TSH 抑制療法の有無、手術合併症の有無
- ③ 転移再発治療後の情報：最終受診日、画像診断結果、病理診断結果（細胞診、病理組織診断）、甲状腺機能検査値（TSH, FT3, FT4、血中サイログロブリン値、血中抗サイログロブリン抗体値）、リンパ節再発の有無とその判定日、局所再発の有無とその判定日、遠隔転移再発の有無とその判定日、がん死の有無とその判定日、生死の判定とその判定日

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

担当医師 岡本高宏

電話・FAX 03-5269-7340

平成 29 年 1 月 25 日

東京女子医科大学東医療センター小児科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 川崎病の臨床的特徴と治療の変遷ー当科における過去 17 年間の経験から

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター小児科

[研究責任者] 杉原茂孝 東京女子医科大学東医療センター小児科教授

[研究の目的]

我々の施設で経験した川崎病の症例について、疫学的事項や治療方法の変遷について調査検討し、現在の課題について考察する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

川崎病の患者さんで、平成 11 年 9 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日の間に川崎病急性期の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、治療方法、臨床経過、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター小児科

担当医師 本間 哲

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1324

平成 29 年 1 月 25 日

乳腺・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 三次性副甲状腺機能亢進症に対する術式とその結果

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院乳腺・内分泌外科

〔研究責任者〕 乳腺・内分泌外科 教授 講座主任 岡本高宏

〔研究の目的〕 三次性副甲状腺機能亢進症に対する様々な手術方法（術式）が治療の結果にどうかかわっているかを明らかにします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2006 年 1 月から 2016 年 10 月までの間に東京女子医科大学乳腺・内分泌外科で手術を施行した三次性副甲状腺機能亢進症患者。

●利用するカルテ情報

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 透析期間
- ④ 腎移植から副甲状腺摘出術までの期間
- ⑤ シナカルセット使用の有無
- ⑥ 術式
- ⑦ 副甲状腺摘出術施行前の Ca,iPTH,P,ALP,Cre
- ⑧ 副甲状腺摘出術施行後の Ca,iPTH,P,ALP,Cre の経時的変化
- ⑨ 腫大副甲状腺の重量
- ⑩ 腫大副甲状腺の腫瘍径
- ⑪ 移植腺の重量

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院乳腺・内分泌外科

担当医師 櫻井桃子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7617

平成 28 年 12 月 16 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心房細動を伴う心不全入院患者における心房機能性僧帽弁逆流についての後ろ向き観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器内科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院 循環器内科 教授・講座主任 萩原 誠久

【研究の目的】

心房機能性僧帽弁逆流の予後、予後因子について検討することを目的とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心房細動を合併する心不全入院患者さんで、平成 25 年 7 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日の間に入院して心不全治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、身体所見、既往歴、内服歴、喫煙歴、検査所見（心電図、心臓超音波検査、画像検査（CT、MRI、心筋シンチ、心臓カテーテル））

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 齋藤 千紘

電話 03-3353-8111(28380) FAX 03-3356-0441

平成 28 年 12 月 29 日

東京女子医科大学病院循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性単心室に対するフォンタン術後の成人期合併症の画像解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断学・核医学講座

〔研究責任者〕 坂井修二 東京女子医科大学 画像診断学・核医学講座 教授

〔研究の目的〕 フォンタン術後の成人期の合併症を画像検査で予測する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2002 年 1 月から 2016 年 10 月までの間に東京女子医科大学小児循環器科に通院または入院したフォンタン術後患者で CT/MRI/核医学検査を施行した患者を対象とする。

●利用するカルテ情報

患者背景（年齢、性別、既往歴、家族歴）

検査内容（血液検査、心電図検査、心臓カテーテル検査、CT/MRI/核医学検査）

治療内容（薬物治療）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断学核医学科

担当医師 長尾充展

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 29 年 1 月 26 日

2016 年 5 月以降に核医学検査室で負荷心臓核医学検査を受けられた 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 cardioREPO による負荷心筋シンチの自動診断能に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

【研究責任者】 画像診断学・核医学講座 教授 坂井修二

【研究の目的】

cardioREPO という画像解析ソフトウェアに、今回、コンピュータによる自動診断機能が搭載されました。この診断の精度を調べる目的で実際の患者さんの過去データを用いて、専門家の診断能と比較する研究を行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

で、平成 28 年 5 月から平成 28 年 12 月の間に負荷心筋シンチグラフィを受けられた方の中で本研究デザインに適合した患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、血液検査、心筋シンチグラフィ検査、心電図

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 百瀬満

TEL 03-3353-8111 FAX 03-5269-7531

平成 29 年 1 月 27 日

消化器・一般外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 胃全摘術、噴門側胃切除術後の骨格筋量の評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第二外科

〔研究責任者〕 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

胃全摘術と噴門側胃切除術後の骨格筋量の変化を調査する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、平成 14 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日の間に胃全摘術もしくは噴門側胃切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、術式、手術日、血液検査結果、腹部 CT

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 植田 吉宣

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7617

東京女子医科大学（旧）男女共同参画推進局女性医師再教育センターへ
登録なされた女性医師へ

－研究に関する情報および研究に対するご協力をお願い－

女性医療人キャリア形成センター女性医師再教育部門（旧男女共同参画推進局女性医師再教育センター）では、以下の研究を実施しております。この研究は、登録、追跡調査で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 女性医師再教育センターにおける復職支援に基づいた我が国の女性医師復職における問題点の分析 （Ⅱ）質問紙調査に基づく解析

【研究機関】 東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター女性医師再研修部門

【研究責任者】 女性医療人キャリア形成センター長 肥塚直美

【研究の目的】

女性医師復職における問題点を検討し、今後の解決策を見いだすため

【研究の方法】

●対象となる方

旧男女共同参画推進局女性医師再教育センターに復職プログラムに登録された方

●利用する情報

年齢、医学部卒業年、専門療育、就業年数、気色期間、登録時の就業形態、家族構成、センター申請の経緯と希望、登録後の研修の有無、研究機関、復職の有無、復職先の就業形態、復職時の専門領域、相談目的、不安因子、解決方法

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、本人を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も本人を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター女性医師再研修部門 横田仁子

電話 03-3353-8112 内線 41832 e-mail: saikyouiku.bm@twmu.ac.jp

平成 29 年 2 月 2 日

当院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎機能低下 2 型糖尿病における薬物排泄経路の異なるシタグリプチンとテネリグリプチンの安全性の比較ー腎機能悪化例とその発現率についてー

【研究機関】 東京女子医科大学病院薬剤部

【研究責任者】 木村利美 東京女子医科大学病院 薬剤部 部長

【研究の目的】

腎機能低下 2 型糖尿病患者における DPP-4 阻害薬の適正使用を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間にシタグリプチンもしくはテネリグリプチンを内服している方

●利用するカルテ情報

- ①患者情報（年齢、性別、身長、体重、BSA、既往歴、原疾患、透析歴）
- ②治療内容（治療経過、有害事象）
- ③使用薬剤（処方歴、併用薬、用法用量）
- ④検査結果（Cr、BUN、eGFR、CCr、eCCr、ALT、AST、TP、Alb、ビリルビン、HbA1c、FBS）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部 薬剤師 知念 光

電話 03-3353-8112 FAX なし

平成 28 年 12 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「日本人における Elis-van Crevelde 症候群の臨床像について」

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 循環器小児科 准教授・診療部長 朴仁三

【研究の目的】

Elis-van Crevelde 症候群は 4～6 万人に一人の割合で発症する希少疾患であり、特に日本人患者さんの遺伝子変異や臨床像が詳しく分かっていない。そのため、調査を行うことで本疾患の特徴・傾向などを知ることを目的とした。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

Elis-van Crevelde 症候群と診断され、東京女子医科大学に 2015 年 11 月から 2016 年 11 月までに受診した患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（心臓 MRI 検査、レントゲン検査、心臓電気生理学的検査、心臓カテーテル検査、心エコー検査、血液検査、尿検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 稲井 慶

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 12 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ウィリアムズ症候群患者の心病変の長期予後に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 循環器小児科 准教授・診療部長 朴仁三

[研究の目的]

ウィリアムズ症候群は染色体 7q11.23 領域の欠失により心臓の合併症として大動脈弁上狭窄や肺動脈狭窄を認める疾患ですが、長期的予後は未だに不明な点があります。生涯にわたる管理の中で心疾患がどう変化するかを調査します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ウィリアムズ症候群と診断され、当院を 2015 年 11 月から 2016 年 11 月までに受診された患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（超音波検査、胸部 X 線検査、心電図検査、血液検査[総コレステロール値、中性脂肪値]）、治療歴（手術、服用薬）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 稲井 慶

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成24年3月14日

東京女子医大に過去に通院・入院されたことのある 患者さんのご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 転移における癌関連炎症性因子の探求

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 薬理学 教授 丸 義朗

〔研究の目的〕

癌が転移する前、あるいは転移の早期において、転移しやすい臓器に炎症様反応が起きているか、またその因子がマーカーとして検出できるか調べるため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

癌の患者さんで、昭和40年4月から平成24年4月の間に剖検、保管に同意された20歳以上の方

対照の方として、昭和40年4月から平成24年4月の間に剖検、保管に同意された20歳以上の方で癌以外の疾患の方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：剖検により得られた臓器のホルマリン固定、パラフィン包埋材料（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名、進行度、手術名、治療内容

③血液検査結果：血算、CRP、肝機能、腎機能、電解質、凝固情報

④画像検査所見：CT、MRI

⑤剖検、病理学的情報

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔検体の取り扱い〕

本研究計画により採取・保管している試料を、同一の研究目的で共同研究などを目的として他の研究施設に提供する場合があります。その場合は、指針に従った手続きを行います。

*上記の研究に検体とカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご

連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 薬理学教室 担当医師 丸 義朗

電話 03-5269-7417 FAX 03-5269-7417

平成 29 年 1 月 20 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 エプスタイン症候群の全国疫学調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 服部元史（腎臓小児科教授）

【研究の目的】

エプスタイン症候群（巨大血小板をとまなう血小板減少、難聴、進行性腎障害を呈する疾患）の患者数および臨床情報を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

エプスタイン症候群の患者さんで、全国の医療機関で受療されている方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、血清クレアチニン、尿素窒素、尿蛋白量、尿潜血の程度、腎生検施行の有無と所見、当初の診断名、発症年齢、検尿異常の発見時期、腎機能異常の発見時期、末期腎不全に至った（透析療法または腎移植）時期、末期腎不全に対する治療内容（血液透析、腹膜透析、腎移植）、難聴の発症時期とその経過、眼症状の有無、MYH9 遺伝子解析の有無と家族歴の有無。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科

担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 11 月 25 日

第三内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病網膜症の重症化および足病変の多施設前向き大規模コホート研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第三内科

[研究責任者] 内潟 安子 第三内科 教授

[研究の目的] 糖尿病網膜症の重症化および下肢病変の発症と重症化に関する危険因子を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

この研究は、すでに当センターの前向き研究に参加していただいている糖尿病患者さんで、網膜症と下肢病変の検査をしており、現在も通常の糖尿病診療を継続している患者さんを対象としています。（コホート研究として参加していず、各種合併症の定期評価をしている糖尿病患者に関しても登録可ですが、その際には患者の同意書取得を必要とします）

臨床研究全体の期間：倫理委員会承認後から平成 31 年年 3 月 31 日まで

●利用するカルテ情報

①人口統計学データと既往歴

1) 人口統計学データ

生年、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、糖尿病の型、糖尿病の発症（または診断）時期（罹病期間）を調査します。

2) 既往歴

心血管イベントの既往の有無と、その他臨床的に問題となる疾患の有無を調査します。

(I) 心血管イベント

- ・心筋梗塞の既往
- ・不安定狭心症での入院歴
- ・心不全での入院歴
- ・CABG、PCIの既往
- ・脳卒中の既往
- ・下肢虚血性病変による血行再建術の既往
- ・脳・頸動脈血行再建術の既往

(Ⅱ) その他、研究責任者または研究者が臨床的に重要と判断した症状又は疾患
(例 癌治療歴など)

②評価項目

1) 前コホート研究登録時の後ろ向き調査：当センターの前向きコホート研究登録時
前後 6 か月間におけるデータを抽出します。

(Ⅰ) 診察データ

体重 (BMI)、血圧、受診状況

(Ⅱ) 合併症評価

- ・網膜症評価：眼科医による眼底検査、福田分類に準じる（網膜症なし、単純網膜症、前増殖網膜症、増殖網膜症、光凝固後、黄斑浮腫の有無）
- ・下肢病変評価：ABI 値、PWV 値
- ・動脈硬化評価：頸動脈 IMT、プラークの有無、最大プラーク計
- ・神経障害評価：末梢神経障害（アキレス腱反射、下肢振動覚、自覚症状より糖尿病性神経障害簡易診断基準に準じる）、自律神経障害（起立性低血圧、胃腸運動障害、膀胱機能障害、無自覚低血糖などの有無より）
- ・腎症評価：正常アルブミン尿、微量アルブミン尿、顕性アルブミン尿、腎不全、透析療法（血液透析、腹膜透析）

(Ⅲ) 臨床検査値

HbA1c、血清クレアチニン (eGFR)、アルブミン尿（尿アルブミン/尿クレアチニン比）、血清蛋白、血清アルブミン、血清脂質（総コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、LDL コレステロール）

(Ⅳ) 治療薬の使用状況

- ・糖尿病治療薬（インスリン、経口血糖降下薬、GLP-1 受容体作動薬の使用有無）
- ・降圧薬（カルシウム拮抗薬、レニンアンジオテンシン阻害薬（アンジオテンシン受容体拮抗薬、アンジオテンシン変換酵素阻害薬など）、その他の使用有無）
- ・脂質治療薬（スタチン、その他の使用有無）
- ・抗血小板薬、抗凝固薬

2) 本研究登録時評価項目（平成 28 年度調査）

上記② 1) (Ⅰ) ～ (Ⅲ) に加え、前コホート登録時から平成 28 年度までにおけるアウトカム事項の発症の有無および診断日（または確認日）を調査します。

3) 前向き調査項目（平成 29～30 年度）

年に 1 回の眼科医による網膜症評価、下肢 ABI 測定を行います。

年に 1 回が難しい症例に関しては、平成 29～30 年度の間に最低 1 回の評価を行います。

4) アウトカム評価項目

①網膜症重症化アウトカム

網膜症の発症、または非増殖性から増殖性への悪化、光凝固術、硝子体手術、失明、抗 VEGF 抗体治療、ステロイド治療の施行または診断日（診断日が不明確な場合には確認

日)

②下肢病変アウトカム

ABI0.9未満、足潰瘍の発症、重症足感染症の発症、下肢血行再建術、足切断を含むPADによる入院の施行または診断日（診断日が不明確な場合には確認日）

③死亡（死亡日と死因）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 馬場園 哲也

電話 03-3353-8111（代） FAX 03-3358-1941（医局）

平成 29 年 2 月 20 日

内分泌外科に通院・入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 乳癌の初再発部位に影響する臨床病理学的特徴

【研究機関】 東京女子医科大学病院 第二外科

【研究責任者】 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 職名（講座主任）

【研究の目的】 乳癌再発形式に影響する臨床病理学的特徴について明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 14 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学内分泌外科にて乳癌の手術を受けられ、乳癌が再発した（リンパ節および局所再発を除く）患者さん

●利用するカルテ情報

1. 手術時年齢
2. 閉経の有無
3. 性別
4. 手術日
5. 術式
6. 術式
7. 腫瘍径
8. 組織診断
9. 術後病期
10. 術後補助療法の内容
11. 2015年12月31日現在の転帰（画像診断結果によって判断）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 第二外科 担当医師 尾身 葉子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7341

<<大腸癌における OSNA®法を用いたリンパ節転移検査に関する後向き予後調査研究>>

1) 対象

当科で大腸癌手術を施行され、2012 年 4 月から 2013 年 8 月の間に手術を受け、先行研究の「大腸癌における OSNA 法を用いたリンパ節転移検査に関する多施設共同研究」にご参加された方が対象です。

2) 研究機関名

大阪大学・外科学講座消化器外科学
 大阪府立成人病センター・消化器外科
 大分大学・消化器・小児外科
 関西ろうさい病院・下部消化器外科
 札幌医科大学・看護学科
 市立吹田市民病院・外科
 日本大学病院・消化器外科
 東京女子医科大学・消化器外科
 栃木県立がんセンター
 兵庫医科大学病院・下部消化器外科
 箕面市立病院・消化器外科

3) 目的

先行研究に参加された患者さんの予後調査を行い、OSNA 法の検査結果が治療方法を決める上で有用かどうかを調べるのが目的です。

4) 方法

先行研究に参加された患者さんを対象に、背景情報や治療データ等臨床情報の収集を行い、後方視的解析を行います。

5) 意義

大腸癌のリンパ節検査転移に使用される OSNA 法は、新しい診断方法のため、判定結果と予後との関係についてあまり報告がありません。今回の研究によって OSNA 法の判定結果と予後に関係性が認められた場合、OSNA 法の判定結果が治療方法を決める上で有用な判断材料となる可能性があります。

6) 個人情報の扱い

研究対象者のプライバシーは厳重に守られ、また、その他人権に関わる事項についても十分な配慮がなされます。本研究の登録の際には氏名やカルテ番号等の個人情報の匿名化を行うため、研究対象者の名前や個人情報が特定・公開されることはありません。収集した臨床情報に関しては、個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な複写などがないように研究を実施します。

7) 問い合わせ先

東京女子医科大学 消化器外科
 TEL: 03-3353-8112 受付時間: 9:00~17:00 (祝祭土日・年末年始は除く)

8) 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法

本研究への情報提供を拒否される方は遠慮なく申し出て下さい。拒否された場合でも、あなたの治療や看護に影響はなく、適切な治療が保証されます。

平成 28 年 12 月 2 日

乳腺診療部に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「乳房温存療法における放射線治療省略症例の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 乳腺診療部

〔研究責任者〕 清水 忠夫 東京女子医科大学東医療センター 乳腺診療部 部長

〔研究の目的〕

乳房温存術後の放射線治療省略症例の予後を明らかにするため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

60 歳以上の乳癌患者さんで、平成 13 年 9 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に乳房温存手術を受け、リンパ節転移陰性、切除断端陰性、血管リンパ管侵襲陰性、ホルモン受容体陽性の方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査、血液検査、病理結果）、術式、術後補助治療、観察期間、再発の有無、死亡の有無

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター 乳腺診療部 担当医師 井上 寛章

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-5493

平成●●年●●月●●日

糖尿病眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 腎機能別による糖尿病網膜症に対する硝子体手術の治療成績についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院糖尿病眼科

〔研究責任者〕 糖尿病眼科 教授 北野 滋彦

〔研究の目的〕 腎機能低下が硝子体手術の治療成績に影響を及ぼすか検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科かかりつけで、1995年1月～2016年12月の間に東京女子医科大学糖尿病センターにて硝子体手術を施行された糖尿病網膜症患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、糖尿病病型、糖尿病歴、血糖コントロール、血圧、腎機能、服薬状況、腎代替療法の有無、糖尿病網膜症病期、白内障手術の既往、光凝固の既往、硝子体手術の術式、硝子体手術前後での視力・眼圧・中心窩網膜厚、硝子体手術後の合併症の有無、再手術の有無

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病眼科 担当医師 亀田 裕介

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

4271

平成29年1月11日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ロボット補助下腎部分切除術の手術時間延長に影響を与える因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 石田英樹 泌尿器科 教授

【研究の目的】

ロボット補助下腎部分切除術において手術操作に難渋し、手術時間が延長する因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013年4月から2017年3月に東京女子医科大学泌尿器科で施行した鏡視下腎部分切除術250例が対象

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量、手術ビデオなど)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

H29 12/31

平成 29 年 2 月 2 日

救命救急センターICUに入院されたことのあるの
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 敗血症の予後予測因子としての赤血球容積粒度分布幅（RDW: Red cell distribution width）の有用性に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院救急医学

〔研究責任者〕 矢口有乃 東京女子医科大学救急医学講座教授・講座主任

〔研究の目的〕

ICUに入院される重症患者様の重症度を把握するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

敗血症の患者さんで、平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に当救命救急センターICUで入院治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、細菌検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 医局

担当医師 矢口有乃、並木みずほ

電話 03-3353-8111 内線 36085 FAX 03-5269-7335

平成 29 年 1 月 20 日

救命救急センター、救急診療科に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 モデルに基づく疾病制御およびリハビリテーション方法の技術開発

【研究機関】 東京女子医科大学病院救急医学

【研究責任者】 矢口有乃 東京女子医科大学救急医学講座教授・講座主任

【研究の目的】

敗血症の病態を解明するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

敗血症の患者さんで、平成 27 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に当救命救急センター、救急診療科で入院治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、細菌検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 医局

担当医師 矢口有乃、島本周治、武田宗和、並木みずほ

電話 03-3353-8111 内線 36085 FAX 03-5269-7335

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 食道癌切除・胸壁前経路再建術における縫合不全予防

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 山本雅一 消化器外科 教授

【研究の目的】

吻合部周囲の支持組織の菲薄性を補うための、吻合部の薄型ポリグルコール酸シート補強の有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2015 年 12 月まで食道癌切除胸壁前経路再建を施行された方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、全身合併症、再建臓器、縫合不全率、再手術率、
初回術後入院期間

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 工藤健司

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 2 月 1 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、食道癌手術を見直し、通常術後測定する項目を再評価しました。新たに保存された検体などは使用いたしません。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 食道胃接合部癌における病理および転移形式からみた郭清範囲の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕

食道胃接合部癌手術をできるだけ摘出範囲を縮小して低侵襲な手術にすること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

食道胃接合部癌の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間に手術をうけられた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術時に測定した検査結果を使用しますので新たに使用することはありません。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査、病理検査、生化学検査値）、

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 成宮孝祐

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

4279

平成 29 年 1 月 23 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対する一次分子標的薬治療における腎機能の変化の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対して、分子標的治療は生命予後を改善し、標準的な治療法である。一次治療（はじめに行う治療）として、スニチニブ、ソラフェニブという薬剤を投与し治療を行うが、これらの治療が腎機能に及ぼす影響は定かではない。そこで今回、我々は転移性腎癌に対するスニチニブ、ソラフェニブ治療による一次分子標的薬治療後の腎機能の評価を調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2007 年 1 月 1 日から 2016 年 6 月 30 日の間に一次分子標的薬治療を受けた方

●利用するカルテ情報

一次分子標的薬治療時の年齢、性別、MSKCC risk（転移性腎癌の予後予測に用いられる）、転移臓器の数、腎機能、尿蛋白の有無、一次分子標的薬治療後の無増悪生存期間（治療開始後から癌が増大するまでの期間）、全生存期間（治療開始後からあらゆる原因で死亡するまでの期間）、一次分子標的薬治療後の腎機能

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX 03-5269-7321

H 29 12/31

平成 29 年 2 月 1 日

リウマチ内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 リウマチ性疾患での細菌感染症に対するプレセプシン・プロカルシトニンの有用性に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院リウマチ内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院リウマチ内科 臨床教授 川口 鎮司

〔研究の目的〕

細菌感染による敗血症の検査マーカーの膠原病疾患での有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

膠原病および膠原病類縁疾患の患者さんで、平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に当科に入院し加療を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査結果（含 CRP、プロカルシトニン、プレセプシン）、治療内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リウマチ内科 担当医師 川口 鎮司

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 11 月 28 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 低体重腎移植症例における生命予後および長期腎生着率の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 服部 元史、腎臓小児科、教授

【研究の目的】 体重が 15kg 以下で腎臓移植を行った患者さんの生命予後と長期腎生着率、腎廃絶に関連する因子を検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

末期腎不全の患者さんで、1985 年 4 月 1 日から 2016 年 5 月 31 日の間に当院にて腎臓移植を受け、その時の体重が 15kg 以下であった方。

●利用するカルテ情報

レシピエントの方の情報：性別、移植時年齢、移植時体重、移植時身長、血液型、原疾患、移植前腎代替療法（方法、導入時年齢、期間）、移植前抗サイトメガロウイルス抗体、移植前抗 EB ウイルス抗体、観察期間、移植後 1 年以内の急性拒絶反応、長期の拒絶反応、生存、移植後の腎代替療法の有無、死因、腎死の原因

ドナーの方の情報：レシピエントとの関係、年齢、腎重量、血液型

手術：術式、動脈吻合部位、静脈吻合部位、阻血時間、固有腎臓摘出術、免疫抑制剤（抗体製剤、免疫抑制剤）、周術期合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 29 年 3 月 1 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 原発性脳腫瘍（神経膠腫）術後 急性期の作業療法
-高次脳機能評価、ADL 評価について-

[研究機関] 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼 哲夫 東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

[研究の目的]

原発性脳腫瘍の開頭摘出術後の認知機能評価や ADL 評価を通して、急性期のリハビリテーションの効果を検証するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

原発性脳腫瘍の患者さんで、平成 28 年 2 月 1 日から平成 29 年 1 月 30 日の間に開頭摘出術を受け、リハビリテーションの介入があった方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、画像検査、リハビリテーション経過記録 (Brunnstrom stage、感覚検査、関節可動域、Mini Mental State Examination、Frontal Assessment battery、Functional independence Measure、レーブンマトリックス色彩検査、Trail making Test)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

担当作業療法士 角田明子

電話 03-3353-8111

FAX 03-5269-7639

H29 9/24

平成 29 年 03 月 04 日

整形外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ**-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 生体腎移植患者における骨壊死、脆弱性骨折の発生率と背景因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院整形外科

【研究責任者】 村田 泰章 東京女子医大整形外科 診療部長

【研究の目的】 腎移植患者におけるステロイド全身投与は、拒絶予防には必要ですが、骨脆弱や骨壊死をもたらす可能性があります。股関節痛、ひざ痛に対して MRI を施行し、骨壊死や脆弱性骨折の有無や、骨壊死や脆弱性骨折を認めた患者様の年齢や骨密度、ステロイド使用量を調査、報告させていただきます。

【研究の方法】**●対象となる患者さん**

2013年04月から2017年01月までの間に東京女子医科大学で生体腎移植手術を施行した患者様で、股関節、膝関節のMRIを施行した患者様です。

●利用するカルテ情報

移植時年齢、骨密度、ステロイド使用量

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科 担当医師 大鶴 任彦
電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

平成 29 年 3 月 15 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 遺伝性出血性末梢血管拡張症における遺伝子変異と臨床像

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 循環器小児科 准教授 朴 仁三

〔研究の目的〕

遺伝性出血性末梢血管拡張症における遺伝子変異の意義と臨床像との関係を解明するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

遺伝性出血性末梢血管拡張症にの患者さんで、平成 2 年 1 月 1 日から平成 29 年 1 月 31 日の間に原因遺伝子変異の検索用の血液の保管に同意された方

●利用するカルテ情報

- ①基本情報：年齢、性別、診断、既往歴、現病歴、家族歴
- ②疾患情報：疾患名、治療内容、経過、合併症、後遺症、遺伝子変異の検索結果
- ③血液検査結果、尿検査結果、心電図検査結果
- ④画像検査所見：CT、MRI、心エコー、胸部X線、心臓カテーテル検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 FAX 03-3352-3088

平成29年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査のために採血された検体の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 採血困難検体における凝固項目測定値の変動に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 運営部長 川島 眞

〔研究の目的〕

採血が難しかった時には、採血をしても検査が出来ない場合や検査の結果に影響がある場合があります。このような時に、検査をする機械の反応する過程を解析することによって、もう一度採血した方が良いかどうか分かるかを研究します。

この研究はシスメックス株式会社との共同研究で行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

倫理審査承認後から平成31年3月31日の間に、検査として凝固検査をされた患者さんの残余検体を用います。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：採血不良の検体及び再採血して検査を行った残余検体

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名、手術名、投薬情報

③血検査結果：血液一般検査、凝固・線溶検査、生化学検査、
免疫・血清学的検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 管理機構室 技師長 三浦ひとみ
電話 03-3353-8112 FAX 03-5269-7469

平成 29 年 3 月 8 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 低リスク I 期乳癌に対する乳房部分照射の臨床試験に向けた実現可能性検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 放射線腫瘍学講座 教授・講座主任 唐澤 久美子

【研究の目的】

新しい乳癌放射線治療開発のため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

I 期乳癌の患者さんで、平成 28 年 5 月 1 日から平成 29 年 1 月 31 日の間に早期乳癌温存術後照射を施行した方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、疾患名、診療内容

画像検査所見：CT

病理組織

放射線画像：DICOM-RT、線量分布

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 医学物理士 松原礼明

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7619

平成 29 年 3 月 6 日

第四内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

腎機能の低下したIgA腎症における扁桃摘出術＋ステロイドセミパルス療法の有用性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第四内科

〔研究責任者〕 新田孝作 東京女子医科大学第四内科教授

〔研究の目的〕

腎生検時蛋白尿 $>0.5\text{g/gCr}$, $\text{eGFR}<60\text{ mL/min/1.73m}^2$ で臨床的に重症度の高いIgA腎症において、扁桃摘出術＋ステロイドパルス療法の有用性について検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成2年(1990年)1月から平成27年5月31日の間に腎生検でIgA腎症と診断された方で腎生検時16歳以上だった方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、生年月日、身長、体重、血圧、過去の経過、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第四内科

担当医師 公文佐江子、森山能仁

電話 03-3342-6111

FAX 03-3356-0293

平成 28 年 12 月 13 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における急性食道粘膜病変の臨床的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 消化器内科 教授・講座主任 徳重克年

【研究の目的】

急性食道粘膜病変の臨床的特徴を明らかにすること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

急性食道粘膜病変と診断された患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日の間に上部消化管内視鏡検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、併存疾患、内視鏡検査、治療経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 久礼里江

電話 03-3353-8111(代表) FAX 03-5269-7507

平成 29 年 2 月 13 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

—臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い—

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 総肺静脈還流異常症に対する根治手術の遠隔成績

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

総肺静脈還流異常症に対する根治手術後の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたる本疾患の病態を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1965 年から 2016 年の間に総肺静脈還流異常症に対して根治手術を施行した患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・ FAX 03-3356-0441

平成 29 年 2 月 13 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 低形成右室症例に対する One and a half ventricular repair の遠隔成績

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

低形成右室症例に対する One and a half ventricular repair 手術後の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたる本手術法の病態を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1982 年から 2016 年の間に低形成右室症例に対して One and a half ventricular repair 手術を施行した患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・ FAX 03-3356-0441

平成 29 年 2 月 13 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ファロー四徴症に対する Conotruncal Repair 法の遠隔成績

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

ファロー四徴症に対する Conotruncal Repair 法の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたる本手術法の成績を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1985 年から 1991 年の間にファロー四徴症に対して Conotruncal Repair 法を施行した患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・ FAX 03-3356-0441

平成 29 年 2 月 15 日

産科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当院における切迫早産症例の周産期予後

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 産科

〔研究責任者〕 松井 英雄 産婦人科 教授

〔研究の目的〕

切迫早産の周産期予後を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2008 年 1 月から 2016 年 12 月の間に当院で切迫早産の診断で周産期管理をされた妊婦

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、妊娠歴、産科合併症、胎児・新生児情報、血液検査結果、胎盤病理

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院産科 担当医師 金野 潤

電話 03-3353-8111 FAX 03-3686-0337

平成 29 年 3 月 18 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 透析導入期における IgA 腎症患者の過去のステロイド投与の影響

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科教授・講座主任

[研究の目的]

IgA 腎症原疾患で末期腎不全（透析導入、腎移植施行）になった方の末期腎不全時の過去のステロイド治療の影響（副作用）を調べます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科で IgA 腎症と診断された方のなかで 1990 年 1 月から 2012 年 12 月までの間に末期腎不全（透析開始、腎移植施行）となった方で末期腎不全時 20 歳以上の方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、血圧、導入時の全身状態（ステロイドの副作用や導入理由など）、検査結果（血液検査、尿検査、心エコー検査他末期腎不全時に施行された検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科

担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111 内線 33331

FAX 03-3356-0293

平成 29 年 2 月 20 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

日本小児腎移植患者の術後早期サイトメガロウイルス（CMV）感染の実態調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 服部元史（腎臓小児科教授）

【研究の目的】

日本の小児腎移植患者の移植後 CMV 感染がどのように拒絶反応、移植腎予後、生命予後、その他の感染などに影響を及ぼしているか、実態を調査すること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に当科で手術を受けた 21 歳未満の腎移植患者さんで、2 年間経過を追うことができる方

●利用するカルテ情報

生年月、性別、基礎疾患、患者さんおよびドナーの CMV 抗体価、EB ウイルス抗体価、移植年月、先行的腎移植の有無、腹膜透析/血液透析の有無と導入年月、二次移植の別、生体腎移植、献腎移植の別、血液型適合性、前処置の有無（ありの場合、血漿交換、リツキシマブ、その他の情報）、免疫抑制薬の種類、移植術後の総入院日数、最終観察時（手術後 24 か月）の生死、腎機能（移植後 1 日、1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、18 か月、24 か月の 7 ポイントにおける血清クレアチニン値、その時の身長）、急性拒絶反応の有無、CMV 感染の有無（ありの場合、発症年月、検査方法、症状、入院、治療、耐性に関する情報）、EB ウイルス感染症の有無（ありの場合、罹患年月、症状、検査方法、入院に関する情報）、その他の感染症の有無（ありの場合、診断名、発症月、入院日数）、その他の有害事象の有無（ありの場合、診断名、発症月、入院日数）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 29 年 4 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 骨髄異形成症候群における新規臨床的予後規定因子の探索

【研究機関】 東京女子医科大学病院 血液内科

【研究責任者】 田中 淳司 東京女子医科大学 血液内科学 教授・講座主任

【研究の目的】 骨髄異形成症候群の予後や臨床経過を予測できる臨床的な指標を明らかにする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2005 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの間に、東京女子医科大学病院血液内科で骨髄異形成症候群と診断された患者さん。

●利用するカルテ情報

対象患者について、以下の項目の調査をおこなう。

- ① 年齢、性別、診断名、診断日時、身体所見、治療内容、使用薬剤
- ② 検査結果（血液、尿、骨髄、微生物学的検査）
- ③ 画像診断結果
- ④ 病理検査結果
- ⑤ 生理学的検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 29 年 2 月 8 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心疾患患者における血小板関連指標に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 准教授

[研究の目的]

血小板関連指標が先天性心疾患患者における血栓症発症や心不全入院の予測に役立つ指標かどうかを検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012年から2016年までの間に東京女子医大循環器小児科に入院し血液検査を受けた患者。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、体重、疾患名、治療内容、合併症、血圧、心拍数、経皮的酸素飽和度、心不全重症度、心不全再入院・血栓症の有無、血算、総蛋白質、ビリルビン、クレアチニン、尿素窒素、Dダイマー、BNP、心臓超音波。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科

担当医師 佐藤 正規

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 29 年 3 月 27 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 非B非C型肝炎細胞癌の実態調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重 克年 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

非B非C型肝炎細胞癌の肝細胞癌の臨床的特徴・再発率・再発に関わる因子・予後などを、多施設研究で明らかにし、今後の非B非C型肝炎細胞癌の診断・治療につなげてゆくことを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2000 年以降に非B非C型肝炎細胞癌に対象とする診療を行った成人の方

●利用するカルテ情報

- ① 病歴書（医師用）
- ② 血液検査
- ③ 画像検査（CT・MRI・エコー）
- ④ 生理検査（体成分組成分析）
- ⑤ 病理学検査（組織）
- ⑥ 感染症検査（ウイルス）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 児玉 和久

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 29 年 3 月 27 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

原発性硬化性胆管炎を罹患し肝移植を考慮もしくは施行された患者に関する全国調査
(多施設共同前向き後ろ向き研究)

[研究機関]

東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者]

江川 裕人 東京女子医科大学 消化器外科 教授

[研究の目的]

原発性硬化性胆管炎患者様において、肝移植(およびその適応検討)の実態および肝移植後PSC再燃例における治療の解明が目的です。

●対象となる患者さん

原発性硬化性胆管炎の患者さんで、平成8年1月1日から平成28年12月31日の間に肝移植目的にて当科を受診された方

●利用するカルテ情報

病歴、年齢、性別

肝生検組織および摘出肝組織の病理学的評価

血液データ：血算、凝固、生化学、腫瘍マーカー、各種自己抗、等

画像：腹部CT検査、腹部MRI検査、内視鏡的胆道造影、経皮的胆道造影、等

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 根本 慧

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 29 年 3 月 26 日

新生児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患合併妊婦の妊娠期間中の BNP 値とその児の出生体重の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院新生児科

【研究責任者】 母子総合医療センター 新生児医学科 教授 楠田聡

【研究の目的】

心臓病を合併した母体から出生した児の出生体重と妊娠期間中の心不全の程度との関係を調べることにより心不全のコントロールが児の低体重の改善につながるかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 4 月～2015 年 3 月までの 8 年間に、東京女子医科大学病院で妊娠管理・出産した先天性心疾患合併妊娠の症例とその新生児

●利用するカルテ情報

①母体情報（年齢、基礎疾患名、分娩様式、妊娠高血圧症の有無、出生前ステロイド投与の有無、NYHA 分類、BNP 値、SpO₂ 値）

②新生児情報（在胎週数、出生体重、アプガースコア、性別、出生体重、心疾患合併の有無）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院新生児科 担当医師 石田宗司

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7619

平成 29 年 3 月 26 日

新生児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患合併妊婦の Brain Natriuretic Peptide 値と新生児の呼吸障害との関係

【研究機関】 東京女子医科大学病院新生児科

【研究責任者】 母子総合医療センター 新生児医学科 教授 楠田聡

【研究の目的】

心臓病を合併した母体から出生した児の出生時の呼吸障害の程度を調べることで、
妊娠中の母体の心不全のコントロールが児の呼吸状態の改善につながるかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 4 月～2015 年 3 月までの 8 年間に、東京女子医科大学病院で妊娠管理・出産した
先天性心疾患合併妊娠の症例とその新生児

●利用するカルテ情報

- ①母体情報(年齢、基礎疾患名、出生前ステロイド投与の有無、前期破水の有無、NYHA 分類、BNP 値、SpO₂ 値)
- ②新生児情報(在胎週数、出生体重、アプガースコア、呼吸窮迫症候群の発症の有無、新生児一過性多呼吸の発症の有無、酸素投与日数)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院新生児科 担当医師 石田宗司

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7619

小児リウマチ性疾患の登録(レジストリ)研究 PRICURE

小児リウマチ性疾患のために東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターを受診された患者さん、保護者の方へ

研究協力をお願い

当センターでは「小児リウマチ性疾患の登録(レジストリ)研究 PRICURE」という研究を行います。この研究は当センターにおかかりの方で、これまでに小児リウマチ性疾患と診断され、治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究です。研究目的や方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせを持ってご同意いただいたものとして実施されます。皆様がたにおかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめをご希望される場合、また研究資料の閲覧、カイジ、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：小児リウマチ性疾患の登録(レジストリ)研究 PRICURE

研究期間：2017年4月1日～2018年12月31日

研究責任者：東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長 山中寿

(2) 研究の意義・目的について

小児期にリウマチ性疾患を発症する患者さんはとても少ないため、1施設で経験できる患者さんの数は限られています。そこで、日本小児リウマチ学会は、将来おなじような疾患をもつお子さんの診断や治療に役立たせることを目的として、日本全国より小児リウマチ性疾患の患者さんの治療経験を集積し、疫学調査を行うことが必要であると考えました。当センターはその研究施設として参加します。

(3) 研究の方法について

小児リウマチ性疾患の診療のために東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターを受診された患者さんの臨床症状、検査結果、治療法などの臨床情報を調査し、日本小児リウマチ学会が管理するデータベースに第三者が個人情報を特定できないようにして登録し、疾患制度、疾患ごとの検査結果の傾向、治療法の有効性などの疫学調査を行います。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接動的できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」にのっとり、個人情報の保護につとめます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は多施設共同研究として、日本小児リウマチ学会の研究成果として発表・学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせなどの連絡先

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 小児科 宮前多佳子
〒162-0054 東京都新宿区河田町 10-22
電話番号:03-5269-1725

平成 29 年 2 月 1 日

形成外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] レーザー治療を行った乳児血管腫の多変量解析などによる統計学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院形成外科

[研究責任者] 井砂司 形成外科 教授

[研究の目的] 乳児血管腫に対するレーザー治療の治療効果を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳児血管腫の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間にレーザーの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、出生歴、乳児血管腫の性状、レーザー治療回数

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院形成外科 担当医師 西山 恵

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6319

平成 29 年 3 月 1 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

—臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い—

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心房細動アブレーション後の抗凝固療法の使用実態と追跡調査
—AF Frontier ABLATION registry—

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 萩原誠久、循環器内科、教授・講座主任

【研究の目的】

心房細動アブレーション後の抗凝固薬の使用状況を調査し、脳卒中、塞栓症の発症率を調査すること

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心房細動の患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日以降にカテーテルアブレーションを受け、術後 1 年以上経過した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、心電図検査、心臓超音波検査）、カテーテルアブレーション治療情報、薬物療法の情報、有害事象情報

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 江島浩一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 年 月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、重炭酸検査の測定した後の残余検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ダイアカラー CO2 基礎的性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院中央検査部 検体検査室

【研究責任者】 東京女子医科大学病院中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

医師から依頼された重炭酸検査の測定後の残った検体を使って、ダイアカラーCO2 試薬で測定を行い、現在使用している試薬と同等の結果が出るか検討します。

この研究は、東洋紡エンジニアリングの受託研究として行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

生化学検査の測定後、倫理委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日の間に検体の残余量のある患者さんの検体

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名

③血液検査結果：重炭酸（CO2）、電解質、アニオンギャップ

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 内線 38215 FAX 03-5269-7469